

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.93号> 2018年 11月1日 発行

ごあいさつ

晴れやかに盛装した小さな紳士淑女が誇らし気な七五三、秋の風物詩です。

爽やかな秋空と裏腹な、サウジアラビアジャーナリストの事件と、シリア内戦取材のため入国し3年余りも拘束された日本人記者解放のニュースが前後して明暗を分け世界を驚かせました。

米国は去る20日、核廃棄条約離脱を表明し、核軍縮の流れの後退が懸念されます。

自国第一主義を掲げ、国際的枠組みを次々と覆す大国の暴挙が多国間主義を危機に立たせる折行われた日中首脳会談は、両国が“不戦の誓い”とも言うべき日中平和友好条約締結から40年の節目。アジアをリードする良きパートナーとして、協調と信頼関係の醸成を期待したいと思います。

さて、29日午後 種子島から打ち上げられたH2Aロケットには、蒲郡の町工場と愛知工科大が協力して作った超小型人工衛星“がまキューブ”も搭載され、愛知発の夢が叶う嬉しい報道でした。

当月は文化的な行事や視察が数多くあり、公務の中でも感動や感性を磨いて行けたらと思います。



刈谷市議会議員

【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel 0566-36-3870

Fax 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp

HPアドレス http://y1110.jimdo.com



歳時記

11月 3日 (土・祝) 文化の日	紺碧の秋晴れの後の雨毎に寒さが増し、樹々も晩秋の化粧を始めました。
4日 (日) ユネスコ憲章記念日	文化祭や美術展、紅葉狩りや食事会など、行事にいとまがない時節です。
7日 (水) 立冬	新しい物事との出会いは、いつか人生を豊かで潤いあるものにするかも。
15日 (木) 七五三	
22日 (木) 小雪	
23日 (金・祝) 勤労感謝の日	

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



静かな山門の脇にひっそりと佇み、時の流れと人々の往来をそっと見守る石碑があります。いくつかの世を見届けて来ました。さて、ここはどこでしょう？



10/1発行の<No.92>の答えは、井ヶ谷町の愛知教育大学を囲むように巡る車道でした。なだらかな起伏と豊かな緑に、笹林も点在する道路を抜けるとオアシスの観覧車が見えます。

‘芸術の守人・リヒテンシュタイン編’への招待☆ (Chapter1)

ナチス率いるヒトラーの美術品略奪の魔の手は、スイスとオーストリアに囲まれた小国・リヒテンシュタインの名画にも同様に及び、オーストリアを併合後、ハプスブルグ家を主君として仕えて来たリヒテンシュタイン侯家にも、オーストリアの国宝級美術品の国外持ち出しを禁じた法を楯に、オーストリア領内に所蔵する美術品の国外搬出に対し、厳しい監視の目が注がれていました。

立憲君主制で法の支配を確立する侯家は、“優れた美術品収集こそが一族の栄誉”という家訓を忠実に守り、代々の当主が500年以上にわたりヨーロッパ美術の名品収集に努めた結果、英国王室に次ぎその数万点にも及び世界最大級の個人コレクションを誇っていました。ラファエロ・ルーベンス・レンブラント等巨匠の名画や華麗な工芸品は、戦争勃発と共にようやく安全な場所への疎開が検討され、オーストリア各地の城や修道院・岩塩坑等にバラバラに保管されましたが、全て回収しリヒテンシュタインに運び出さなくてはなりません。

そこで奪われた美術品奪還のため、リヒテンシュタイン侯爵より美術品の運命を託された美術館長の、召集令状も家族をも捨てた必死の奔走が始まります。

11月の行事予定

- 11月 6日 (火)・7日 (水) 市民クラブ会派行政視察
- 10日 (土) 三河西地域協議会総会
- 14日 (水)・15日 (木) 全国市議会議長会議
- 16日 (金) 刈谷市都市計画審議会
- 21日 (水) 12月議会6者・4者会議
- 22日 (木) 議会運営委員会

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!



10月のフットワーク

市民文教委員会 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
10月17日	越谷市	スクールコンケア・ICTを活用した授業について
10月18日	郡山市	外国人児童生徒に対する教育について 産後ケア事業について
10月19日	日野市	発達・教育支援センター「エール」について

〔視察委員〕 渡邊 妙美(委員長) 佐原 充恭(副委員長)

蜂須賀 信明(委員) 白土 美恵子(委員) 新村 健治(委員)

外山 鈺一(委員) 伊藤 幸弘(委員) 当局2名



日野市

越谷市

(3日目)

(1日目)

越谷市『スクールコンケアとICTを活用した授業』について

越谷市の平方中学校は、生徒の心身のコンディションの把握やケアへの対応(コンケア)や、生徒が意欲的に取り組む授業にICTを積極的に活用しており、その内容や効果について学び、刈谷の教育に活かすことを目的に視察した。

〔刈谷市に参考としたい施策〕

- ・コンケアは、子どもの隠れた心の変調や、いじめ等の対策としても効果大。
- ・現代社会ではICTは必要不可欠なツール、情報モラルや使い方の体験など、学校教育の中でも積極的な活用の研究が必要。

〔所感〕

コンケアもICTの一環、子ども達の変調の早期把握や、能力向上にも効果の上がるツール。本市も情報技術を積極的に活用する教育が必要と感じた。

郡山市『外国人児童生徒に対する教育』について

郡山市は、増える外国人就労者の子ども達への教育環境づくり協議会を中心に特別指導拠点校を設置きめ細かいサポートを実施おり、その仕組みを学ぶ。

〔刈谷市に参考としたい施策〕

- ・外国人児童生徒の課題と今後の対応の方向性を整理する協議会の設置。
- ・多国化する児童生徒に対する教育指導員の確保と指導要領の構築。

〔所感〕

刈谷市も年々外国人が増加してきており、外国人児童生徒に生活習慣や日本語教育への指導スキームの構築は避けられない課題であると感じた。

日野市『発達・教育支援センター“エール”』について

日野市は、発達に不安のある子ども達を包括的に支援する施設を開設し、福祉と教育を一体化した組織体で切れ目のない支援を行っており、その運営内容を学ぶ。

〔刈谷市に参考としたい施策〕

- ・発達障害児に対する福祉と教育の一体化組織の検討。
- ・個々個人の支援データ化(かしのきシート)および教育課程の移行支援の充実。

〔所感〕

障害児にはには、成長とともに教育支援は必要不可欠。福祉と教育の一体的な組織づくりと必要支援のデータ化による切れ目のない継続的な支援が必要と感じた。



“エール”玄関前にて

議会運営委員会 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
10月24日	守谷市	議会のICT化について
10月25日	立川市	議会のICT化について
10月26日	江戸川区	議会における防災について



(2日目)

(3日目)

〔視察委員〕 加藤 峯昭(委員長) 前田 秀文(副委員長)

加藤 賢次(委員) 星野 雅春(委員) 山本シモ子(委員) 白土 美恵子(委員)

山内 智彦(委員) 清水 俊安(委員) 伊藤 幸弘(議長) 黒川 智明(副議長) 当局2名

守谷市『議会のICT化』について

守屋市議会では、平成26年から迅速な情報共有として、クラウド(モアノート)を活用しタブレット端末で議会運営を行っている。現状の運用状況や効果について聞き取り、今後の刈谷市議会のICT化に向けた研究に活かす事を目的に視察した。

〔刈谷市が参考にすべき事項〕

- ・タブレット操作において、マルチペアリング対応が可能なこと。
- ・タブレット画面において、2画面(比較画面)が同時に見れること。
- ・執行部側と議員側が同じデータを見て質疑するデータの共有化が重要。

〔所感〕

執行部側も同じタブレットを導入し、両者が同じデータを共有をしながら議論することが必須であり、導入に当たっては執行部との同期調整が前提と感じた。

立川市『議会のICT化』について

立川市議会は、平成26年からクラウド(サイドボックス)を活用し、議会事務局がフォルダー整理をし、執行部側と議員が閲覧しやすい運営を図っている。その仕組み等を聞き取り、刈谷市議会のICT化に向けた研究に活かす事を目的に視察した。

〔刈谷市が参考にすべき事項〕

- ・議員はタブレット、行政側はPCを使用しており、閲覧しやすいフォルダー整理。
- ・サイドボックスはPDFのため、ヒット検索可能なシステムを採用すべき。
- ・タブレット又はPC導入に当たっては、完全ペーパーレスにしないと効果は薄い。

〔所感〕

執行部側と議員側の共通閲覧に当たっては、運用基準や閲覧および検索しやすいシステムを採用すべきで、通信費用の負担も含め十分な検討が必要と感じた。

江戸川区『議会における防災の取り組み』について

刈谷市議会では、昨年6月に議会の災害対応マニュアルを策定し大規模災害発生時の議員としての役割を明確にしたが、更に発展的な対応について先進的な取り組みを学び、今後活かすことを目的に視察した。

〔刈谷市が参考にすべき課題〕

- ・議員の居住地のマップ作成と参集訓練の実施。
- ・市議会対策本部の設置訓練と情報収集訓練の実施。

〔所感〕

行政職員の行動訓練と同期した方法による実践訓練と、LINEを使った情報収集について、議会のICT化と合わせて議会運営の課題として協議すべきと感じた。



江戸川区役所にて